

第4回

全国高校教育 模擬国連大会 (AJEMUN)



主催:全国中高教育模擬国連研究会 (全模研)

AJEMUN

第二回全国高校教育模擬国連大会

高校生の

高校生による

高校生のための模擬国連大会

大会概要

開催日時：1月10日(日)，11日(月)

開催方法：オンライン(Zoom)

議 題：人種差別

議場数：初心者2議場，一般3議場

会議方式：ハーバード形式

使用言語：日本語

目次

p.2 大会実行委員長挨拶

p.3 大会事務局長挨拶

p.4 大会セクションリーダー挨拶

p.6 大会スケジュール及び諸注意

p.8 大会参加校一覧

p.9 主催・後援・助成・協賛

p.10 大会実行委員一覧

p.11 大会事務局一覧

大会実行委員長のあいさつ

大会実行委員長

駒場東邦高等学校 棚澤 哲

皆さん、はじめまして、第4回全国高校教育模擬国連大会(AJEMUN)の実行委員長を務めさせていただきます、駒場東邦高等学校3年の棚澤哲と申します。どうぞよろしくお願い致します。

さて、通常は8月にオフラインで行われているAJEMUNですが、今年度は1月にオンライン上で開催するなど、例年とは大きく異なった形での開催となります。

この変化を良しと捉えるか悪しと捉えるかは人それぞれだと思います。もちろん通常の形式でないことに対して不安、不満をお持ちの方もいらっしゃると思います。そしてそのお気持ちは、模擬国連に参加してきた身として、重々理解いたしております。

ですが実行委員長として、僕からは少し視点を変えて、今年度のAJEMUNのオンライン開催に関して期待を寄せている部分に関して述べさせていただきたいと思います。

まず、これまでAJEMUNは広く門戸を開け、模擬国連活動を全国に広めるという理念のもと実施されてきました。そして今回オンラインでの開催になったことでこれまで以上に全国の高校生にリーチアウトができるのではないかと考えております。ある意味では例年よりも気軽に参加できるようになったAJEMUNをきっかけに模擬国連を始めてみる高校生が増えればそれ以上に嬉しいことはありません。

また、このように全国の高校生が参加することによって、これまでは出会うことのなかった“模擬国連仲間“に参加者の皆様が出会えることができるのではないかと考えております。会議中、様々な大使の方との出会いを楽しみながら参加していただければ幸いです。

最後に、全国数百人規模のオンライン模擬国連大会の開催は全国で初の取り組みとなります。フロントをはじめとする実行委員一同、どのように皆様に最良の会議を体験していただけるか、真剣に考え、運営をして参ります。皆様もAJEMUNに例年以上にどうぞ大きなご期待を寄せ、楽しんでご参加いただけますと幸いです。

大会事務局長のあいさつ

大会事務局長

公文国際学園中高等部 米山 宏

大使のみなさん、こんにちは。第4回全国高校教育模擬国連大会(AJEMUN)へようこそ。ご承知のように今年のAJEMUNは新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受けて、8月の対面での実施を見送り、ようやくオンラインでの開催に漕ぎつけました。このような状況でも歩みを止めず、日々模擬国連活動に取り組み、今回の大会参加を決断した大使の皆さんと顧問の先生方に感謝の意と敬意を表します。模擬国連は「会議」ですから、実はオンラインテレビ会議システムとの親和性は高いはずで、事実この4月から現在に至るまで既にオンラインの模擬国連会議が多数開かれています。ですから今回の会議でも対面の会議と寸分変わらず活発な議論が繰り広げられることを願っています。

さて、今年の議題は「人種差別」です。おそらくこの問題は一つの人種が他の人種と交流をもち始めた当初から存在したはずです。大袈裟に言えば、人類が文明を興した時から存在し、そして現在に至るまで存在し続けているのです。BGの論点3にも触れられていますが、今年に入ってアメリカでは「Black Lives Matter」として注目されたのも記憶に新しいですね。ある意味人類の永遠の課題と言えるかもしれません。ですから今年の会議では皆さんに相当の難題にチャレンジしてもらうことになります。簡単に正解には辿り着けないでしょう。いや、正解はないかもしれません。その正解のない課題に各国大使が協力して解決への道筋をつけるのが模擬国連の醍醐味です。初めて参加する皆さん、ぜひ模擬国連にハマってください。経験者の皆さん、モギコッカーをもっともっと増やしましょう。我々主催者や各校顧問の先生方は、模擬国連を経験する若者が増えることが世界平和への道につながると信じています。

全国的に例年になく寒い冬になっています。この寒さを吹き飛ばすような熱い2日間になることを期待しています。

セクションリーダーのあいさつ

フロントセクションリーダー

渋谷教育学園幕張高等学校 江原 颯希

参加者の皆さん、こんにちは。フロントセクションリーダーを務める、渋谷教育学園幕張高等学校2年の江原颯希です。この度は第4回全国高校教育模擬国連大会(AJEMUN)にご参加いただきありがとうございます。

私は大使の皆さんが作成されたPPPとNPを見させていただき、リサーチの濃さに感動しました。その成果を是非会議で発揮していただきたいです。参加者数も多く、たくさんの異なった意見が出ると思いますが、それぞれに耳を傾けてみてください。皆さんの提案する政策を楽しみにしています。

今会議の議題は「人種差別」です。去年はニュースでも多く取り上げられ、日本国内でもデモ活動が起きました。各国で起きている差別を国際問題として考えていただきたく、この議題を設定しました。差別やそれに対する抗議活動をどのように捉えるかは皆さんそれぞれ意見があると思いますが、今会議では一国の代表として、国際社会にどのようなメッセージを送るのかを頭に入れて、会議に参加してください。

会議中に反省することも出てくるとは思いますが、前向きに、そして、なにより楽しんで会議に臨んでください。実行委員一同、よりよい会議の実施に向けて精一杯努めて参りますので、どうぞ2日間よろしくお願ひします。

最後になりましたが、今大会の開催にあたって、ご協力くださった先生をはじめとする皆様に心から御礼申し上げます。

運営受付セクションリーダー

浅野高等学校 天野 晴斗

皆さん、こんにちは。今大会の運営受付セクションリーダーを務める、浅野高等学校2年の天野晴斗です。第4回全国高校教育模擬国連大会(AJEMUN)にご参加いただき、ありがとうございます。

まずはとても多くの方にAJEMUNに参加していただきうれしく思います。僕は大使の議場割りを行ったのですが、上限の13名まで申し込んでいただいた学校も多くあり、模擬国連活動がどんどん広まっているのだなと感じております。今大会が初の模擬国連、という方もいらっしゃいました。ぜひ今大会を機に模擬国連について知ってもらい、その面白さに気づいてもらいたく思います。

今年度はオンライン開催になりましたが、模擬国連の活動の本質は変わらないはずで、それは自分たちの国益を守りながら、納得のいく決議へ向けて交渉を重ねていくというものです。大使の皆さんは、ぜひ自分たちがリサーチしてきたことを活かし、積極的に発言、交渉をして自分たちの政策を決議案に入れられるように頑張ってください。また今大会から多くの刺激を受け、今後の活動につなげていただければ幸いです。

運営受付セクションが会議本番に皆さんと直接関わる機会は少ないかもしれませんが、しかし議場割りや式の準備、表彰の集計など、陰ながらサポートをしております。皆さんが会議そのものに専念できるよう頑張っていきます。2日間、どうぞよろしく願いいたします。

情報テクニカルセクションリーダー

渋谷教育学園渋谷高等学校 矢野 貴大

皆さんこんにちは。情報テクニカルセクションリーダーを務める、渋谷教育学園渋谷高等学校2年の矢野貴大と申します。第4回全国高校教育模擬国連大会(AJEMUN)へのご参加、ありがとうございます。

情報テクニカルセクションは、4回目の開催にして初めてオンラインで行われる事となった今大会を技術的な面でサポートするために新設されました。4人のメンバーや顧問の先生方を中心に大会HPの作成・運営やオンラインマニュアルの作成を行い、当日はトラブル対応にあたります。

僕個人、昨年度大使として初めて参加したAJEMUNですが、全国各地から集まった何百という生徒と大会の規模感に圧倒されたと同時に、同年代の仲間との議論を通じて新たな視点や価値観を得ることができ、大会を通して非常に学ぶことの多かった、本当に貴重な経験となりました。そのため、このような事態の中これまで行ってきた形でのAJEMUNができなくなってしまったことは残念であり、だからこそ、オンラインという形で行われることとなった今年度のAJEMUNを、それが参加されるみなさん全員にとって有意義なものになるようにしたいという意志の下、今日まで準備を進めてきました。

オンライン上の模擬国連は馴染みがない、という人も多いかと思います。この大会を実りのあるものにするとともに、みなさんが遺憾無くその実力を発揮できるよう我々情報テクニカルセクションは努めますので、どうぞ宜しくお願いいたします。

大会スケジュール

1日目：1月10日(日)		2日目：1月11日(月)	
10:00	接続開始	9:30	接続開始
11:00	開会式	10:00	会議開始
11:30	基調講演 星野俊也先生 「模擬国連の意義とあゆみ ～緒方貞子さんからの系譜 (仮題)」	10:30	質疑応答終了
		11:30	昼食
		12:00	会議再開
		14:30	DR 提出
12:10	昼食	14:40	休憩
13:00	会議開始 ※途中で 20 分の休憩	15:00	会議再開
		15:40	投票
15:30	WP 提出	16:00	会議終了・閉会式
16:40	会議終了・解散	16:40	解散

【基調講演 講演者プロフィール】

星野俊也(ほしのとしや)先生 大阪大学大学院国際公共政策研究科教授
(前・国際連合日本政府代表部大使・次席常駐代表)

専門は国際政治学、国連研究、人間の安全保障など。

上智大学を卒業後、東京大学大学院総合文化研究科で修士号(学術修士)、大阪大学大学院国際公共政策研究科にて博士号(国際公共政策)を取得。

日本国際問題研究所主任研究員、プリンストン大学客員研究員、国連大学コンサルタント、国連日本政府代表部公使参事官、コロンビア大学客員学者、大阪大学教授、同大学副学長などを歴任。2017年8月から2020年7月まで大使・次席常駐代表として国連日本政府代表部に二度目の勤務をした後、現職。

国連大使としては、主に国連持続可能な開発目標(SDGs)に関連する経済社会案件や行財政問題を担当したほか、国連安保理で議長代行を務め、また、東京2020競技大会の開催に向けて日本が起案をしたオリンピック・パラリンピック停戦決議では186の共同提案国を集めたコンセンサスでの採択を実現させた。

上智大学時代の米国留学において体験した模擬国連に感動し、帰国後に恩師の緒方貞子教授(当時)のご支援も得て、大学生の模擬国連活動と全米大会への派遣事業を開始(1983年)し、2007年にはグローバル・クラスルーム日本委員会のアドバイザーとして高校生の全米大会派遣事業も進めた。

諸注意・禁止事項

- ・服装は制服またはそれに準じるものを着用してください。
- ・1人1台のデバイス(PC、タブレット、スマートフォン)を使用することとします。
- ・同じ国のペア(トリプル)が同一空間から参加することを禁止とします。学校から参加する場合で別教室を用意することが難しい場合、事務局までご相談ください。
- ・議事進行・スピーチ・非公式討議・成果文書はすべて日本語とします。
- ・会議開始前、会議停止中(昼食、休憩時)の事前交渉、メモ回し、文書及び資料の配布は一切禁止です。
- ・1日目の会議終了後、2日目に向けて他国の大使同士で連絡を取り、交渉を進める(通称：夜間交渉)は厳禁です。夜間交渉が発覚した場合、2日目の参加資格をはく奪することもありますので絶対にないようにしてください。

撮影、録画の撮影について

肖像権に関連して、写真、動画撮影においては以下を厳守してください。

- ・動画撮影は一切禁止です。
- ・画面の静止画撮影(スクリーンショット)は顧問の先生のみ可能です。
- ・他校の生徒の顔が写っているものについては、学校、個人を問わずHPやSNSで掲載をしないでください。もしくはぼかしを入れて、個人が特定できないようにしてください。

参加校一覧

浅野高等学校	頌栄女子学院高等学校
アサンブション国際高等学校	昭和女子大学附属昭和高等学校
茨城県立竹園高等学校	駿台甲府高校
江戸川学園取手高等学校	聖心女子学院高等科
愛媛県立松山東高等学校	専修大学松戸高等学校
大阪信愛学院高等学校	洗足学園中学高等学校
大谷高等学校	玉川学園高等部
大妻高等学校	中央大学杉並高等学校
小林聖心女子学院高等学校	桐蔭学園高等学校
海城中学高等学校	東京学芸大学附属国際中等教育学校
開智中学高等学校	東京女学館高等学校
海陽中等教育学校	徳島県立城ノ内高等学校
鹿児島情報高等学校	鳥取県立鳥取西高等学校
神奈川県立希望ヶ丘高等学校	名古屋高等学校
神奈川県立横浜国際高等学校	西大和学園高等学校
関西外語専門学校国際高等課程	浜松学芸高等学校
関西創価高校	雲雀丘学園高等学校
岐阜県立岐阜高等学校	富士見高等学校
岐阜県立関高等学校	富士見丘高等学校
公文国際学園高等部	法政大学国際高等学校
久留米大学附設高等学校	松本秀峰中等教育学校
群馬県立中央中等教育学校	三田国際学園中学校高等学校
ぐんま国際アカデミー高等部	三輪田学園高等学校
佼成学園高等学校	武庫川女子大学附属高等学校
佼成学園女子高等学校	茗溪学園高等学校
駒場東邦高等学校	山形県立山形東高等学校
済美高等学校	横浜翠陵高等学校
酒田南高等学校	洛南高等学校
滋賀県立米原高等学校	ラ・サール高等学校
実践女子学園高等学校	立教女学院高等学校
渋谷教育学園渋谷高等学校	他 1 校 計 63 校
渋谷教育学園幕張高等学校	

主催・後援・助成・協賛

【主催】

全国中高教育模擬国連研究会（全模研）

【後援】

文部科学省

国連ウイメン日本協会

東京私立中学高等学校協会

ユネスコ・アジア文化センター

日本私立中学高等学校連合会

東京都教育委員会

外務省

全国都道府県教育委員会連合会

国連広報センター

（順不同）

【助成】

公益財団法人 公文国際奨学財団

【協賛】

株式会社 公文教育研究会 グローバル・コミュニケーション&テストイング

学校法人河合塾 進学教育事業本部 海外大進学推進担当

学校法人河合塾 みらいふ

株式会社 第一学習社

株式会社 帝国書院

株式会社 山川出版社

東京書籍株式会社

株式会社 近畿日本ツーリスト首都圏 首都圏国際交流センター

（順不同）

大会実行委員一覧

【実行委員長】

棚澤 哲（駒場東邦高等学校）

【情報テクニカルセッション】

セッションリーダー： 矢野 貴大（渋谷教育学園渋谷高等学校）

鈴木 那菜（実践女子学園高等学校）

中原 瑠南（加藤学園暁秀高等学校）

三宅川 ほの花（松山東雲高等学校）

【運営受付セッション】

セッションリーダー： 天野 晴斗（浅野高等学校）

津嘉山 栞（豊島岡女子学園高等学校）

古川 美月（頌栄女子学院高等学校）

李 宜珍（佼成学園女子高等学校）

【フロントセッション】

セッションリーダー： 江原 颯希（渋谷教育学園幕張高等学校）

伊丹 萌華（頌栄女子学院高等学校）

岩淵 ひまり（公文国際学園高等部）

宇佐美 恵満（公文国際学園高等部）

江上 すみれ（公文国際学園高等部）

大麻 陽菜（茨城県立竹園高等学校）

菊地 咲楽（公文国際学園高等部）

後藤 慧（渋谷教育学園渋谷高等学校）

後藤 雅尚（岐阜県立関高等学校）

佐伯 恵怜菜（聖心女子学院高等科）

高橋 美帆（明治学院高等学校）

高見澤 茉奈（公文国際学園高等部）

谷口 優葉（公文国際学園高等部）

丹治 相来（公文国際学園高等部）

水木 亨（玉川学園高等部）

宮澤 佑奈（聖心女子学院高等科）

妻鹿 涼介（渋谷教育学園渋谷高等学校）

持田 隼人（海城高等学校）

山本 晴菜（大妻高等学校）

脇田 理花（渋谷教育学園幕張高等学校）

大会事務局一覧

【大会事務局長】

米山 宏（公文国際学園中等部・高等部）

【情報テクニカルセクション】

岡 祐司（渋谷教育学園渋谷中学・高等学校）

三浦 佳奈（富士見中学・高等学校）

内田 美穂（三輪田学園中学・高等学校）

【運営受付セクション】

宮坂 武志（浅野中学・高等学校）

柿岡 俊一（埼玉県立浦和西高等学校）

【フロントセクション】

齊藤 智晃（渋谷教育学園幕張中学校・高等学校）

後藤 芳文（玉川学園高等部・中学部）

室崎 摂（渋谷教育学園渋谷中学・高等学校）

藤山 由彦（駒場東邦中学校・高等学校）

関 孝平（大妻中学・高等学校）

竹林 和彦（早稲田実業学校）

飯島 裕希（頌栄女子学院中学校・高等学校）

【大会顧問】

星野 俊也（大阪大学大学院国際公共政策研究科教授）

